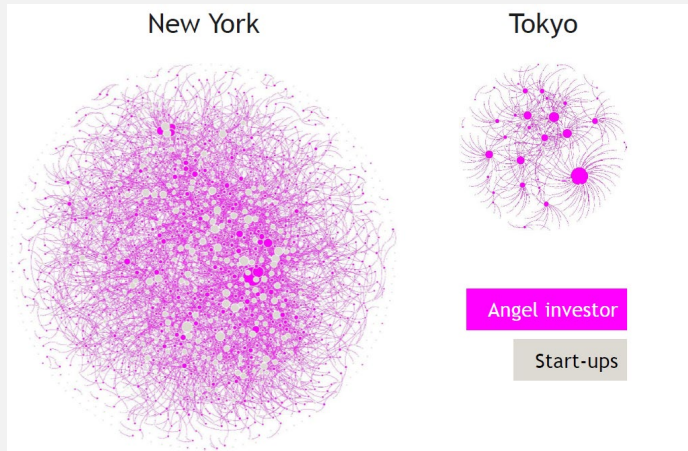


我が国スタートアップ・エコシステムの課題

- スタートアップの成長に必要なメンター(指導者)、アクセラレータ(支援プログラム)の不在。
- 大学においても、起業家教育、支援プログラムはごく一部に留まる。都市としても競争力不足。

エンジェル投資家・メンターの不足



※データベース、アンケート調査を踏まえたネットワーク分析。ドットの大きさはコネクションの多さ。

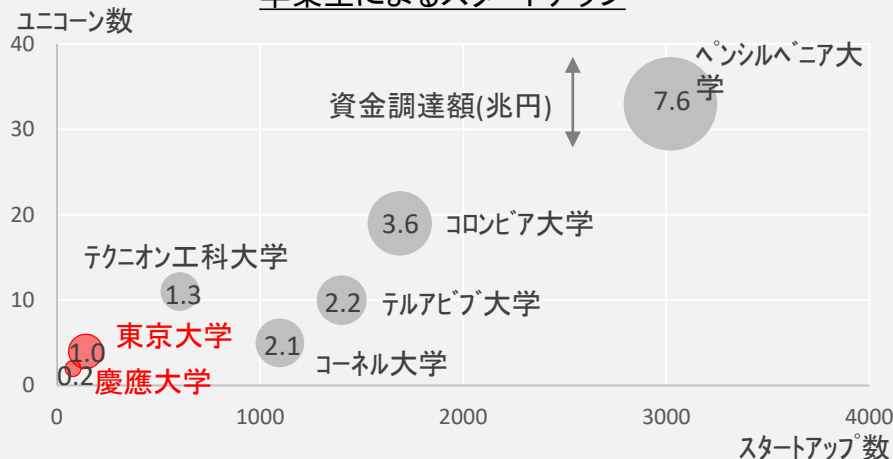
アクセラレータ(支援プログラム)の不在

100億円以上の資金調達確率(プログラム実施後)



不十分な起業家教育・支援

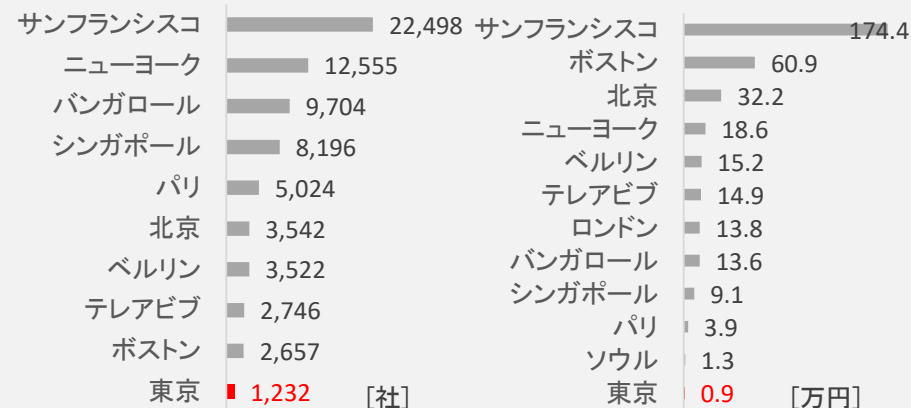
卒業生によるスタートアップ



スタートアップ・エコシステムの要素

スタートアップ数(VC投資実績)

VC投資額 / 人口



イノベーション・エコシステム専門調査会の設置

【背景・課題】

- 科学技術・イノベーション推進のためには、いわゆるイノベーション・エコシステムの構築が不可欠
- 特に、エコシステムの重要なプレイヤーであるスタートアップが次々と創出される環境整備が重要
- 内閣府では、スタートアップ・エコシステム拠点形成戦略(2019年)を策定し、関係府省と連携して施策を推進
- こうした取組により、イノベーション・エコシステムの構築に向けて一定の成果は出ているものの、他国エコシステムとの競争のためには、成長速度の格段の加速が必須
- 「大学ファンド」によるイノベーションの源泉となる大学の異次元の強化を機に、この果実をスタートアップを通じ成長させるイノベーション・エコシステムの抜本的強化を図る

【検討の方向性】

- 本年2月より、CSTIの下に「イノベーション・エコシステム専門調査会」を設置し、既存施策の強化に加え、新たな方策を検討し、5月中を目途に取りまとめ予定。

検討事項

■ 成長志向の資金循環形成

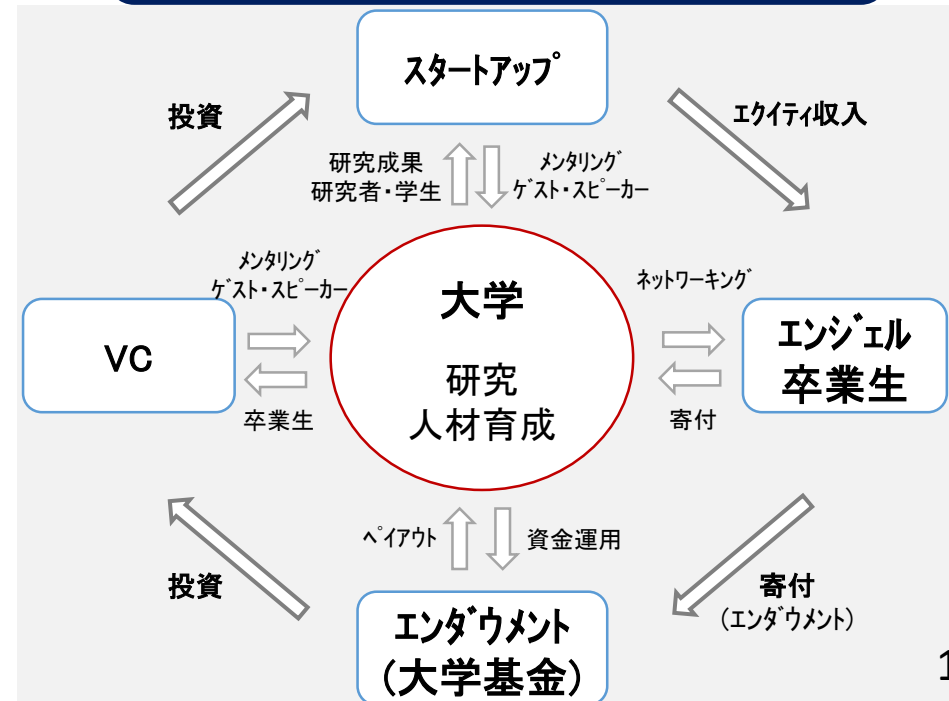
- 大規模機関投資家からのVC投資促進
- 海外VCから日本への投資拡大
- 未上場株式市場（カンダリー・マーケット）の創出

■ 成長志向の「人材」などの基盤強化

- 世界に比類するスタートアップ・キャンパスの整備
- 国際展開も見据えた起業支援プログラムの強化

その他、起業家へのインセンティブや政府調達を活用促進 等

イノベーション・エコシステム（米国事例）



參考資料